

清藤大輔医師による「介護医学」連続講座

大阪

国労大阪会館 (第二小会議室)

(大阪府大阪市北区錦町 2-2)
 ☆JR「天満」駅より徒歩2分、
 地下鉄「扇町」駅4番出口より徒歩3分

第①回 2019年 第②回

10月12日(土) 10月13日(日)

時間 10:30 ~ 16:00 (各回共通)

講師
 ・清藤大輔



大河内記念病院・院長/医師
 1994年、熊本大学医学部卒。
 仙台市での在宅ホスピス勤務
 医を経て、2003年より11年間、
 老健施設の施設医を務める。
 2014年より介護老人保健施設
 ・志木瑞穂の里副施設長、20
 15年より施設長。2018年、同
 施設退任後、ういずクリニック
 新横浜・院長を経て、2018年
 12月より現職。

高齢者と病気の医学知識

【高齢者の病気の特徴】

あいまいな訴え、はっきりしない症状/多臓器に病気/廃用症候群と老年症候群/多剤併用による副作用や病気/検査値のバラつき/社会的背景がきっかけとなる病気/病気の予後が若年者と異なる/脱水はあらゆる病気を真似する/高齢者の病状管理の方程式

【症状から読み取れる見逃せない病気】

発熱がある/意識障害がある・意識が消失する/けいれんがある/食欲がない/嘔気・嘔吐がある/誤嚥がある/むくみがある/動機や息切れがする/尿の量が少ない/なんとなくおかしい、落ち着きがない

【慢性疾患の管理とアセスメント】

①肺炎・誤嚥性肺炎/②COPD/③慢性心不全/④慢性腎不全(CKD)/⑤肝不全/⑥パーキンソン症候群/⑦便秘・イレウス/⑧糖尿病/⑨薬を減らすケア/⑩自然排便の8原則ケア/⑪入浴時・食事時・排泄時の注意点/⑫入院を減らすケア

【注意が必要な薬の知識】

安全な薬物療法の9原則/副作用と薬物有害事象/認知症薬、向精神薬の考え方と使い方/副作用のサイン(めまいやふらつき、傾眠傾向、手のふるえ、転倒、不穏な行動)

急変時の介護医学

【急変の早期発見と早期対応】

急変とはどういう事態か/なぜ急変するのか/急変は予防できるか/慢性疾患の急性増悪/急変のリスク因子/事故防止の3つのレベル/救急車が来るまでにすべきこと/まずは脱水を疑う/発熱を見たら?/薬と急変

【2つ以上の症状の危険な組み合わせ】

意識レベルの低下+(呼吸器症状、むくみ・息切れ、血圧上昇、手足の麻痺、冷汗、血圧低下)/頭痛+(嘔吐、首の痛み)/38度以上の発熱+(脈90以上、血圧低下、低血糖、腎機能低下)/入浴後+めまい/多量の排便+意識障害

【急変時のサインと緊急性の高い症状】

バイタルサインのバニック値、症状がどんどん悪くなる、急な体調変化・ADL低下、手足のしびれ、突然の激しい頭痛・食欲不振・胸痛・腹痛、便の色の異常、嘔吐、けが・骨折、薬の処方が変わった後の新規症状

【急変時の症状別対応】

高熱/誤嚥・窒息/呼吸困難/意識障害/けいれん・てんかん/激しい頭・胸・腹痛/吐血・下血/骨折/やけど/鼻出血/低血糖発作と症状/入浴時の高血圧と急変

*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合のみご連絡申し上げます。

*連続で受講される方は、初回到2回分の受講料をいただきます。

連続受講の場合、受講者の変更が可能です

受講料 *当日会場
 で承ります 1回 7,000円

2回連続(①②) 12,000円

主催

なるほどケア塾

お問い合わせ

〒189-0011

☎042-306-3771

東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 ㈱円窓社内

お申し込みはこちらへ Fax

Fax: 042-306-3772

<参加人数>

<参加者名> *施設の場合は施設名もご記入ください。	① 10/12 ()名	2 回 連 続 ① ② ()名
<住所>〒 (自宅・職場)	② 10/13 ()名	
<TEL>	<FAX>	